

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	「鯨のまち長崎」推進事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	長崎市	水産農林政策課	石丸	095-820-6562
事業期間	開始年	平成 19 年 4 月 1 日 (11 年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 []			
実施期間	(開始日) 平成 29 年 7 月 4 日		(完了日) 平成 30 年 3 月 31 日	
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)	
	①株式会社 アド長崎新聞	日高	095-846-0676	
	②学校法人 川島学園	川島	095-861-7008	
	①魚の美味しいまち長崎ホームページ「長崎の鯨」コーナー設置業務委託 ②親子で学ぶ!くじら食文化教室調理等業務委託			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	長崎市民、観光客	市民が長崎で古くから食されてきた鯨の食文化を継承するとともに、市外にも広く「鯨のまち長崎」のイメージが普及することで鯨を食べに長崎市を訪れる観光客が増加する。		
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	・初めての取組みとして、夏休みの親子を対象とした「親子で学ぶ!くじら食文化教室」を開催し、長崎の鯨食文化についての座学や食べ比べなどを通じて若い世代への鯨食文化の継承を図った。 ・例年パンフレットを制作し「ながさき今昔くじら料理フェア」を開催していたが、魚の美味しいまち長崎ホームページに新たに「長崎の鯨」コーナーを設置することで、長崎を訪れる観光客の「鯨のまち長崎」の認知度向上を図った。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	長崎は歴史的に鯨とのゆかりが深く、特有の食文化や祭りなどが今なお残っているが、特に若い世代においては鯨を食する機会が少なくなっている。また、観光客においては長崎=鯨のイメージが浸透していない。			
(経緯・現状)				
事業開始当初は、親子鯨料理教室や鯨にまつわるイベントの開催などを行っていたが、毎年事業内容は減少傾向であった。しかし、平成 26 年度に長崎市において「全国鯨フォーラム」が開催されたことで、飲食店及び鯨を推進する団体等のつながりが強固になり、官民一体となり「鯨のまち長崎」の推進を図っている。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算
事業費 (円)		804,598 円	491,880 円	331,400 円
(財源内訳)	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	市町振興共同事業助成金	402,299 円	245,940 円	165,700 円
	一般財源	402,299 円	245,940 円	165,700 円

成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	くじら料理フェア提供店舗	毎年度 100 店舗		店舗	目標	100	100
実績						38	40	41
目標達成率 (%)						38	40	41
②	鯨食文化の周知にかかる講演受講者	毎年 200 名 (イベント、学校等)		人	目標	200	200	200
					実績	70	39	48
					目標達成率 (%)	35	19.5	24

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 鯨食文化を子供たちに継承すること及び市民や観光客に鯨食の普及を図る機会が減る。 また、継続的に「鯨のまち長崎」を全国に向けて情報発信出来なくなる。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果（活動）指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った		料理フェア参加店舗募集や食文化教室参加者募集の告知が不足していた。		
	(2) 成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
	実施予定 期 日	10月 11月	例年実施している料理フェアの参加店舗数が伸び悩んでいるため、現在食に関連する事業に参画いただいている店舗にも参加を募る。		
(3) 類似事業との統合			(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価			(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない				
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保			(判断理由と可能な歳入確保内容)	
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難				

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	長崎くじら食文化を守る会会長が所属する川島学園と引き続き連携し、市民と観光客それぞれにターゲットを絞り、効果的に「鯨のまち長崎」の普及を図る。				